

段・インターネットやスマートフォン
の使用状況等々、地域に関する多岐に渡る内容を想定しています(質問項目は、役場職員有志等で構成する『MIRA』づくり委員会で検討・決定する予定です)。

本事業は将来的には町内全域で実施することを想定していますが、まずは自治会の中から2か所にご参加いただき、実証実験的にアンケートを行います。興味のある方は地元自治会長にご相談ください。必要であれば協議会職員が詳しい事業概要説明に参りますので、お気軽にご要望ください。アンケート実施後は回答の集計・分析後、該当自治会で報告会を行います。次の段階としては、町内10カ所の地区公民館から2か所に立候補していただき、より広域な全住民アンケートを実施する予定です。事業概要説明や集計の結果報告会も同様に行います。

な地域づくり・地域活性化のためには、「将来の地域の理想の姿」を具体的にイメージし、そこに近づくために現状を把握した上で、「理想と現状のギャップ」をどう埋めるか、地域住民の中で話し合い行動していくことがどうしても必要になります。「全住民アンケート」事業は、合理的・客観的な現状把握に大変有効です。

「ご参加いただいた自治会・地区公民館の代表者の方々には、新しい地域づくりを進めている先進地の視察をご提案予定です。ぜひ皆さんの自治会でもこの事業に取り組みませんか。自治会の皆様からの参加表明・事業概要説明のご依頼を心よりお待ちしております！」

【お申し込み・お問い合わせ】
錦江町まち・ひと・『MIRA』創生協議会／担当：柴山(0994・25・10001)
(注：本事業は4月10日の自治会長会でご紹介し、5月2日を締切として募集しています。町広報誌が配布される時点で二つの自治会からアンケート参加希望が出ている可能性もあります)

とり
びづくり

フランスの大学院生を
インターンで受け入れます！



関との連携は、これを具体的に検討する第一歩です。

錦江町とフランス・トゥールーズ国立理工科大学以下、

トゥールーズNPPはこのほど、フランス側の学生を錦江町に受け入れる連携協定を締結し、初代インターン生として農業系大学院生1名が6月上旬～9月上旬の間、町内に滞在します。活動期間中は錦江町役場観光交流課に在籍し、多様な業務に従事してもらう予定です。

錦江町総合戦略第1次改訂版では、基本戦略2「『しごと』づくり」の中で、「フランス型(大規模集約型)とオランダ型(先端技術型)農業適合性研究」を検討することをつたっています。フランスの高等教育機

関との連携は、これを具体的に検討する第一歩です。

トゥールーズNPPは6つの高等教育機関で構成されており、その中の1つ、ENSAT(トゥールーズ国立高等農学校)はヨーロッパ最大の農業国・フランスにおいても有数の農業系教育・研究機関とされています。ENSATとしては近年アジア地域における戦略的パートナーシップ構築を進めており、その中でも日本は最重要国の1つとされています。また、ENSATの学生は3年間の履修期間の中でフランス以外の国で12週間のインターンを行うことが卒業要件になっています。

錦江町側としても、農業分野の知見のあるフランス人学生を一定期間受け入れることにより、町内農業・農産品に関する外国人専門家から見た評価が得られたり、日本人にはない視点で町内の観光・自然・環境分野のポテンシャルを評価・分析してもらったりすることが可能になります。また、町内産品の海外輸出、特にヨーロッパ市場を視野に入れた提言等も期待されます。来町予定の学生は、エリオノール・ドレカノヴァさん。24時間耐久レースで有名なルマン出身の21歳、複数の外国語を話す才媛で、乗馬歴14年のスポーツウーマンです。日本のことが大好きで、錦江町での滞在を心から楽しみにしています。

6月上旬に来町後、錦江町役場観光交流課に配属になり、インターンとしての本来業務に加え、町内の観光関連イベントにも協力していただく予定です。日本語もある程度理解できるらしいので、町内で見かけたらぜひ声をかけてください。

なお、ただいまエリオノールさんのホームステイ先を探しています。受け入れ可能なご家庭、興味のある方は「お問い合わせ」をご覧ください。

【お申し込み・お問い合わせ】
錦江町まち・ひと・『MIRA』創生協議会／担当：柴山(0994・25・10001)